

成長の一場面にかかわって

学校教育課長 長谷部 薫

冬も終わり春がやってきました。出会いの春、門出の春など、春は新たなことにスタートするという気持ちになります。先日、「シャイニングクラス」で学んだ子どもたちが相談室を訪れ、新たな高校生活のスタートへの思いを話してくれました。不安な気持ちはありながらも、新しい生活への期待感にあふれていました。その子どもたちが、新たなスタートラインに立てたことを本当に嬉しく思います。シャイニングクラスで学んだ他の子どもたちも、新しい目標や進路に向かってスタートしたとうかがっています。



教育相談員や教科指導員の先生方を見ていると、シャイニングクラスに通う一人一人の子どもたちの心に寄り添い、適度な距離を保ちながら指導していただいています。その子の将来を見ながら、最終的には自立することができるように、じっくりとかかわっていただきました。不登校で学校を休むこともその子の成長の一場面と思います。しかし、その場面には適切なかわりが必要で、その役割の一端を教育相談室は担っているのだと感じています。

平成26年度も教育相談室には様々な相談があり、相談される方も就学前から成人まで幅広い年齢にわたっていました。たくさんの方が不安を抱え、聞いてほしいという思いでいることを実感したところです。それらの多様な相談に、教育相談室が少しでもお役に立てるように、また、子どもと家庭と学校とをつなぐ希望の架け橋になることができるように取り組んでまいりますので、宜しくお願いいたします。

「リスタートクラス」が昨年度より、最上広域青少年指導センター（社会教育課内・内線462）に移管されましたが、これまで同様、連携をとりながら活動をしてまいります。

教育相談室の2つの活動のめざすところとその内容を一覧にしました。ご理解をお願いします。

心身ともに明るく元気な新庄っ子の育成

児童・生徒の育ちと環境をじっくり把握し、将来を見つめ、自立をうながす教育相談

教育なんでも電話相談
23-7266

教育相談室

適応指導教室
(シャイニングクラス)

(担当 鈴木正雄 林さえ子 小野徳子)

- ◎ 悩みや問題への対応、解決に向けての支援
学校や関係機関への要望
- 電話相談、来室者の面談による相談
- ケース会議、相談のための訪問、他

(担当 林さえ子 小野徳子 鈴木正雄)

- ◎ 不登校傾向及び不登校児童・生徒への支援
- 個別学習指導（国語、社会、数学、理科、英語）
- 小集団活動（体育、体験活動）
- カウンセリングによる個別対応

学校生活への復帰・適応

リスタート事業

昨年度より、最上広域青少年指導センターに移管（担当 菖蒲）

- ◎ 引きこもりがちな青少年の自立支援
- 居場所づくり、交流活動、ボランティア体験など
- 高校再受験・専門学校等への進学、就労チャレンジ他

「応援団としてのシャイニングクラスの活用を」

一抹の不安を抱えながらも3月、めざす高校へ、ないしは在籍の学校へと通級生を送り出しました。我々が心配するほどではないらしく、卒業生はそれぞれの進路へ力強く歩み出したようです。そしてまた、新年度が巡ってきました。単年度毎でピリオドを打つ当クラス、開設間近に迫った今、どんな生徒たちとどんな出会いが待っているのだろうと、期待と不安が入り混じった日々を過ごしているところです。(4月10日現在)

年度初めにあたり情報交換や当室のPRも兼ねて、登校を渋っている生徒や、踏み出せず困っている生徒はいないかなど、中学校をいくつか訪問させてもらいました。話に寄ると昨年度までは比較的欠席が多かった生徒も、中学校へ入学したり学年が上がったりしたこと、また担任の先生が新しくなったりクラス編成が変わったりしたことなどで、再スタートできていることが数多く聞かれました。他の生徒と一緒に登校している生徒、生徒会行事に参加した生徒、そしてまた近づく運動会を楽しみにしている生徒など、新年度にあたり目標も新たにリセットできていることが大きな要因なのでしょう。各校とも、以前にも増して不登校対策には多大な労力を割いていることも、強く感じられました。

今後もしも学校集団での学習・生活が苦しくなった生徒が居る場合には是非協力したいという話をし、学校を後にしました。これかも学校のより良い応援団の一員として努力していきます。

平成27年度 シャイニングクラス時間割

| | 学習時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|---------------|----|---|----|-------|----|
| 教科 | 午前①9:25~10:25 | 理科 | — | 社会 | 体験活動 | 数学 |
| | ②10:30~11:30 | 国語 | — | 英語 | (月2回) | 体育 |

始業 9:10 朝の会

帰りの会 11:40 終業

教科担当の指導者を紹介します



英語 伊豆倉公子先生

平日の朝のラジオ講座を聴くたびに、新出語句に出会います。まさに「一生勉強一生青春」を痛感します。ゆっくりめげずに Step by step!



社会 押切榮子先生

シャイニングクラスでの社会科指導も6年目になります。初心を忘れず『つながり』を大切にして努めていきたいです。

教育相談員紹介 よろしくお願ひ致します。

- 教育相談室3年目の **小野徳子(おのとく)** です。専門外の国語と大好きな理科等を担当します。一緒に活動したり、学んだりするのを楽しみに待っています。どじなので助けていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。
- 教育相談室に世話になって丸4年が過ぎました。主に数学を担当します相談員の **林 さえ子(はやしさえこ)** です。この時期どんな生徒とどのような新しい出会いが待っているだろうとワクワクするとともに、うまいかかわ

りができるだろうかと不安も大きいです。その分学校との連携を深め、共に悩みながら生徒へのよりよい支援に努力していきます。よろしくお願いいたします。

- 相談担当の **鈴木正雄(すずきまさお)** です。相談室勤務は3年目です。2人の相談員や関係機関との連携を図り、また支援をいただき、相談室の機能を果たしてまいります。笑顔とチームワークで乗り切っていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

あ と が き

子どもに適した教育をすれば不登校は必ず解決の方向に動いていきます。しかし、方法があると聞いてホッとして何もせずに待っていればいいわけではありません。不登校は時間が解決する問題ではないからです。むしろ時間が経つことで問題が大きくなります。不登校の解決が難しいのは、問題を抱えている子ども自身が問題解決を望んでおらず、一番の抵抗勢力になってしまう点です。解決には子ども自身が根本的な原因から逃げずに、自分のこととして向き合うようになることが必須条件。子どもを学校に行けるようにしていくのは、数多くのステップがあり、家族だけでできることではありません。他人の力が必要です。不登校の真の悩みは、学校に行くかどうか、出席扱いになるかどうかではなく「何を身につけたか」です。学校に行っても保健室で何もせずに過ごしているのであれば、この先、様々な心配事が出てきます。「不登校になったら最初に読む本」 小林多賀子著 (株)クロスメディアマーケティングより抜粋

数学 斎藤玲子先生

答えが分からなくても考えているときが楽しい。でもやっぱり、分かった!!というときは一番嬉しい。一回でも多く分かる喜びを味わわせたいと思います。よろしくお願ひします。